

平成21年 4月 25日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2009

課題番号：18330112

研究課題名（和文）社会におけるメディアの役割：東南アジアにおける市民生活とメディア

研究課題名（英文）The roles of the mass media in society：citizen life and mass media in Southeast Asia

研究代表者

藤田 真文（FUJITA MAFUMI）

法政大学・社会学部・教授

研究者番号：60229010

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学

キーワード：(1)国際マス・コミュニケーション研究 (2)ジャーナリズム論 (3)ジェンダー研究 (4) マレーシア (5) インドネシア (6) フィリピン

1. 研究計画の概要

(1) 開発と社会変化におけるメディアの研究を進める 開発の過程と政治発展においてメディアや社会情報の役割がどのように変化してきたか、東南アジアをケースとして分析を行う。

(2) 民主化におけるメディアの役割を分析する 民主化におけるメディアの果たす役割の変化、とくに体制との関係を分析することは東南アジア社会の新しいダイナミクスを見る視点としても重要である。

(3) メディアと市民生活の関係を分析する とくに地域社会におけるジェンダー・エスニシティ・社会階層という視角から分析することによって、社会における構造の変化とメディアの新しい性格を議論する。

2. 研究の進捗状況

(1) 開発と社会変化におけるメディアの研究においては、インドネシアの放送制度の変遷とジャカルタおよびバリ島におけるテレビ情報の流通に関する調査を現地で実施した。

インドネシアにおける 2002 年の放

送法改正を受けて、バリ島でも有力地方紙のバリ・ポストの資本を背景としてバリ・テレビが開局した。バリ・テレビ開局の背景としては、「ゆるぎないバリ」運動という地域主義の勃興がある。バリ・テレビはその設立趣意書に明らかなように、バリのアイデンティティを深化させる啓蒙的な役割を担わされた。

番組編成を内容分析してみると、9割が地元局制作であり、例えば視聴者のヒンドゥー教理解を促進する番組は、首都ジャカルタ発のイスラム的な価値への対抗的意味を持っていることがわかった。

(2) メディアと市民生活の関係について、マレーシアにおけるメディアとジェンダーに関する調査を現地で実施した。

(3) インドネシアにおける放送番組流通の予備的調査として、台湾での放送番組輸出の現状を調査した。

実施したインタビュー調査によれば、2000年代に入り、台湾では日本のマンガを原作にした若者向けのテレビドラマが高い視聴率を獲得するとともに、

出演者が国民的タレントになるなど、放送産業が活性化した。それらの番組は、台湾国内にとどまらず、中国大陸さらには北東アジア、東南アジアに広く視聴範囲を拡大していき「華流」と言われるブームが現出した。

現在では中国大陸をはじめとした番組輸出を前提とした番組制作が行われている。インドネシアにおける「華流」ブームもその一環であることがわかった。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)当初掲げた3つの研究課題のうち2つについてはすでに現地調査が完了している。「民主化におけるメディアの役割を分析する」という課題についても、今年度現地調査を完了する予定である。

4. 今後の研究の推進方策

今年度は「民主化におけるメディアの役割」に関する現地調査を重点的に行うとともに、昨年度までの研究成果との統合を図っていきたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

1. 内藤耕 「インドネシアにおける日系工業団地と周辺農村との関係」『東海大学文学部紀要』査読なし、第88号、2008年、87-102頁

2. 内藤耕 「熱気と混沌のパサール」『アジア遊学』査読なし、第90号、2006年、54-66頁

[学会発表] (計4件)

1. 吉村真子 「マレーシアにおけるジェンダーと市民社会」、共通論題「アジアにおけるジェンダー」アジア政経学会東日本大会 2008年5月24日、東京外国語大学

2. 吉村真子 「独立後50年のマレーシアの経済・社会：開発の光と影」『共通論題報告：独立後半世紀のマレーシア 軌跡と展望』マレーシア研究会 (JAMS: Japan Association of Malaysian Studies) 研究大会、2007年12月1日、南山大学

3. YOSHIMURA Mako “Economic Development and Migrant Workers: Domestic Workers in Malaysia” The 5th International Convention of Asian Scholars (ICAS5) 2007年8月2日、UKM, Bangi, Malaysia

4. 内藤耕 「東南アジアにおけるメディア、国家、市場——インドネシアのテレビ放送界の20年を例に」アジア政経学会東日本大会、2007年5月26日、学習院大学

[図書] (計3件)

1. 内藤耕、倉沢愛子・吉原直樹編『変わるバリ、変わらないバリ』勉誠出版、2009年 (総312頁)

2. 吉村真子、アジア政経学会・竹中千春・山本信人編『アジアの市民社会』慶應義塾大学出版会、2008年 (総381頁)

3. 内藤耕 『都市下層の生活構造と移動のネットワーク』明石書店、2007年 (総355頁)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]